編	章	節	条	枝番	I	種	測	定	項	目	規	格值				
3 土	2	3 共	4		矢板工 意仮設は	〔指定仮設・任 は除く〕	基	準	高	\bigtriangledown	=	±50				
木工	般施	通的			(鋼矢板	e)	根	Ī	ζ.	長	設計	值以上				
⊥事共通編	施 工	的工種			(軽量銀(コンク)(広幅銀	岡矢板) フリート矢板)	変		位	Q		100				
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	5		縁石工 (縁石・	・アスカーブ)	延		長	L		200				
3 土	2	3 共	6		小型標調		読取	置下	言さ	Н	設計	値以上				
木工	般施	通	通	通 的	通	通							幅w	(D)	-	-30
事共	工	工種					基礎		高	さ h	-	-30				
通		作里							根	入れ長	設計	值以上				
編																

	1	単位:m
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
基準高は施工延長40m(測点間隔25m の場合は50m)につき1箇所、延長40 m(又は50m)以下のものは1施工箇 所につき2箇所。 変位は、施工延長20m(測点間隔25m の場合は25m)につき1箇所、延長20 m(又は25m)以下のものは1施工箇 所につき2箇所。		
1箇所/1施工箇所		
1箇所/1基		
基礎1基毎		

田位	•	mr
	•	mm

編	章	節	条	枝番	I.	種	測 定	項目	規格値
3 土木工事共	2一般施工	3 共通的工種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止 柵) (車止めポスト)		基礎	幅 w 高さh	-30
六通 編		1里			(中正6)4)77	- /	パイプ取	文付高 H	$+30 \\ -20$
3	2	3:	8	1	路側防護柵工				
土木工	一般施工	共 通 的 T			(ガードレーノ	レ)	基礎	幅 w 高さh	-30
事共通編	Τ.	工種					ビーム取	同 C II 文付高 H	$+30 \\ -20$
3 土 木	2 一 般	3 共	8	2	路側防護柵工 (ガードケーン	ブル)		幅 w	-30
工事共	施工	的工種					基礎	高 さ h	-30
通編								延 長 L	-100
							ケーブル	取付高 H	$^{+30}_{-20}$

		単位:m
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
単独基礎10基につき1基、10基以下の ものは2基測定。測定箇所は1基につ き1箇所測定。 1箇所/1施工箇所		
1箇所/施工延長40m 40m以下のものは、2箇所/1施工箇 所。 1箇所/1施工箇所		
1 箇所/1 基礎毎 1 箇所/1 施工箇所		

出来形管理基準及び規格値

単位:mm

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	規格値
3 土 木	2 一般	3 共通:	9		区画線工		厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上
工事共通	施工	的工種					幅 w	設計値以上
編								
3 土 木 工	2 一般 抜	3 共 通 的	10		道路付属物二 (視線誘導構		高 さ h	±30
上事共 通 編	施工	211種			(距離標)			
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	11		コンクリー	下面塗装工	塗料使用量	鋼道路橋塗装・防 食便覧Ⅱ-74 「表-Ⅱ.5.5各塗 料の標準使用量と 標準膜厚」の標準 使用量以上。

測 定 基 準	測	定	筃	所	· <u>位</u> :m 要
各線種毎に、1 箇所テストピースによ り測定。					
1箇所/10本 10本以下の場合は、2箇所測定。					
			h		
塗装系ごとの塗装面積を算出・照査し て、各塗料の必要量を求め、塗付作業 の開始前に搬入量(充缶数)と、塗付 作業終了時に使用量(空缶数)を確認 し、各々必要量以上であることを確認 する。 1 ロットの大きさは500㎡とする。					

光 (子		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
3 土	2	3 共	12	1	プレテンション桁製作 工 (購入工)	- 桁長 L (m)	± L/1000
木工事	般施工	通的工			(けた橋)	断面の外形寸法	± 5
ず 共通編	1	重				橋 桁 の そ り δ ₁	± 8
лраны						横方向の曲がり δ ₂	±10
3 土木工事	2一般施工	3 共通的工	12	2	プレテンション桁製作 工 (購入工) (スラブ桁)	新長 L (m)	$\begin{array}{c} \pm 10\cdots \\ L \leq 10m \\ \pm L / 1000\cdots \\ L > 10m \end{array}$
共通		種				断面の外形寸法	± 5
編						橋 桁 の そ り δ ₁	± 8
						横方向の曲がり δ ₂	±10
3 土 木	2 一 般	3 共	13	1	ポストテンション桁集 作工	ų 幅(上)w1	+10 -5
工事	施工	的工				幅(下)w ₂	± 5
共通編		種				高 さ h	+10 -5
						桁 長 0 支間長	ℓ <15…±10 ℓ ≧15… ± (ℓ-5) か つ-30mm以内
						横方向最大タワミ	0.8 l

測 定 基 準	測 定 箇 所	<u>単位</u> :m 摘 要
(内 た 金 中 析全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合 は、製造工場の発行するJISに基づく試 験成績表に替えることができる。		女
桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合 は、製造工場の発行するJISに基づく試 験成績表に替えることができる。	δ1	
桁全数について測定。 桁方向タワミの測定は、プレストレッ シング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3箇所とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合 は、製造工場の発行するJISに基づく試 験成績表に替えることができる。 ℓ:支間長(m)	δ_1	
験成績表に替えることができる。	h wz	

単位	1	mr

編	章	節	条	枝番	I	種	測	定項	目	規格値	ŧ
3 土木工事共通編	2 一般 施 工	3 共通的工種	13	2	プレキャス ト桁製作工		桁 断面の:	長外形寸注			
3 土木工事共通編	2 一般 施 工	3 共通的工種	14		プレキャスト主桁組立		析横方	長 支間長 向最大;		ℓ <15…±10 ℓ ≥15… ± (ℓ - 5; つ-30mm以内 0.8ℓ)か
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	15		РС ホ ロー 工	スラブ製作	基 幅 厚 桁	さ	w ₂	± 20 -5~+3 -10~+2 $\ell < 15 \cdots \pm 10$ $\ell \ge 15 \cdots$ $\pm (\ell - 5)$ つ-30mm以内	0) か

桁全数について測定。 術全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3箇所とする &:支間長(m) 桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点 付近)で1箇所当たり2箇所(支点 付近)で1箇所当たり面端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 第3編2-18-2床版工に準ずる。 &:桁長(m)	測 定 基 準	測	定	筃	所	摘	要
 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする 2 : 支間長(m) 桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 第3編2-18-2床版工に準ずる。 1 : 桁長(m) 							
基準高は、1 径間当たり2箇所(支点 付近)で1箇所当たり両端と中央部の 3点、幅及び厚さは1径間当たり両端 と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 第3編2-18-2床版工に準ずる。 &:桁長(m)	向タワミの測定は、プレストレッ グ後に測定。 面寸法測定箇所は、両端部、中央 3箇所とする						
ℓ:桁長 (m)	高は、1径間当たり2箇所(支点)で1箇所当たり両端と中央部の、幅及び厚さは1径間当たり両端央部の3箇所。 筋の出来形管理基準については、						
				00			

編	章	節	条	枝番	I	種	浿	川 定 項	〔 目	規格値																	
3 土	2	3 共	16	1	PC箱桁	製作工	基	其 準 高	∇	±20																	
木工	般施	通的					ψį	畐 (上)	\mathbf{w}_1	$-5 \sim +30$																	
事共	T	工種					南	畐 (下)	\mathbf{w}_2	$-5 \sim +30$																	
通編							Þ	內空 幅	w ₃	± 5																	
							기백년	うう さ	h_1	+10 -5																	
							Þ	内空高さ	h 2	+10 -5																	
							;	桁 長	l	$\ell < 15 \cdots \pm 10$ $\ell \ge 15 \cdots$ $\pm (\ell - 5) か$ つ-30mm以内																	
3 土	2	3 共	16	2	P C 押出	し箱桁製作工	ţ	匾(上)	\mathbf{w}_1	$-5 \sim +30$																	
木工	般施	(通的					ţ	偪(下)	\mathbf{w}_2	$-5 \sim +30$																	
事共	I	工種																						内 空 幅 w3			± 5
通編																						견	高 さ	h_1	+10 -5		
							F	内空高さ	h 2	+10 -5																	
							;	桁 長	l	ℓ <15…±10 ℓ ≧15… ± (ℓ − 5) か つ−30mm以内																	
3 土	2	3 共	17		根固めブ	ロック工	基準	層	積	± 100																	
木工事	般施工	通的工					- 高 ▽	乱	積	\pm t / 2																	
· 単 共 通		重					厚	Į ż	t	-20																	
編							幅 w1	層	積	-20																	
							w2	乱	積	- t / 2																	
							延長 L ₁	層	積	-200																	
							L 2	乱	積	- t / 2																	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点 付近)で1箇所当たり両端と中央部の 3点、幅及び高さは1径間当たり両端 と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 第3編2-18-2床版工に準ずる。 &:桁長(m)	h_1 w_1 h_2 w_3 w_2	
桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 第3編2−18−2床版工に準ずる。 & : 桁長(m)	h_1 h_2 w_3 w_2	
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。 幅、厚さは40個につき1箇所測定。 1施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	I.	種	測	定項	目	規格値
3	2	3	木 18	认出	 沈床工	138	基	進高		±150
土木	一般	共通					幅		w	±300
工事	施工	的 工					延	長		-200
共通編		種								
3 士	2	3 共	19		捨石工		基	準 高	\bigtriangledown	-100
土 木 工	般施	通 的					幅		w	-100
事共	T	工種					延	長	L	-200
通編										
3 土	2	3 共	22		階段工		幅		W	-30
土木工事	般施	通 的					高	さ	h	-30
共	I	工種					長	さ	L	-30
通 編							段		数	±0段
3 土 木	2	3 共	24	1	伸縮装置工		据	付け高	īδ	舗装面に対し 0~-2
I	般施	通的一			(ゴムジョイ	ント)	表	面の世] 凸	3
事共通	T	工種					仕	上げ高	īδ	舗装面に対し 0~-2
通編										

Visi de de Vila		単位 : m
測定基準	測 定 箇 所	摘要
1 組毎		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。		
1回/1施工箇所		
両端及び中央部付近を測定。	」。高さ 舗装面	

編	章	節	条	枝番	工和	Ē	測	定項	目	規格値
3 土 木	2 一 般	3 共	24	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガー	ジョ	高さ	据付け	高さ	± 3
工事共	施工	的工種			イント)			車線方向 誤差の相		3
通編							表	面の凹	凸	3
							歯型板 の高低	面の歯咬み 差	*合い部	2
							縦	方向間隔V	V 1	± 2
							横	方向間隔V	V 2	± 5
							仕	上げ高	さ	舗装面に対し0~ -2
3 土	2	3 共	26	1	多自然型護岸工		基	準 高	\bigtriangledown	± 500
木工事	般 施 工	通的工			(巨石張り、巨) み)	石積	法	長	l	-200
ヂ 共 通		種					延	長	L	-200
編										
3 土 士	2 	3 共	26	2	多自然型護岸工		法	長	l	-100
木工事	般施工	通的工			(かごマット)		厚	ち	t	−0.2 t
爭 共 通	T.	工種					延	長	L	-200
迎編										

測 定 基	進	御 弓	<i>→ 1</i> /2	75		位:n 要
例 止 革 高さについては車道端部、		測 兌	E 箇	所	摘	安
点計 9 点。 縦方向及び横方向間隔はī の計 3 点。				↓ A		
施工延長40m(測点間隔2 50m)につき 1 箇所、延1 50m)以下のものは 1 施 2 箇所。	長40m(又は		200			
施工延長40m(測点間隔2 50m)につき1箇所、延1 50m)以下のものは1施 2箇所。	長40m(又は					

編	章	節	条	枝番	工種	測定	項目	規格値
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 L 厚	$\begin{array}{c} \mathfrak{l} < 3 \ \mathrm{m} \\\\ \mathfrak{l} \geqq 3 \ \mathrm{m} \\\\ \mathfrak{E} \\ t \end{array}$	-50 -100 -50
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	27	2	羽口工 (ふとんかご、か 枠)		さ h L ₁ , L ₂	-100 -200
3 土木工事共通編	2一般施工	3プレキャストカルバートエ	28		プレキャストカルバ トエ (プレキャストボッ ス工) (プレキャストパイ 工)	基準 / · · ·	高 ▽ w さ h 長 L	±30 -50 -30 -200

測 定 基 準	測 定 箇 所	<u>単位</u> :m 摘 要
施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所、延長40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につき 2箇所。		<u>ک</u> ۱۹۱
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、施工延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所 につき2箇所。 ※印は、現場打部分のある場合。 1施工箇所毎		

出来形管理基準及び規格値

単位	1	mr

編	章	節	条	枝番	I	種	測	定項目	規格値															
3 土木工事共	2 一般 施 工	3 共通的工種	29	1	 側溝工 (プレキャ 溝) (L型側溝 (自由勾配 		基	準 高 ▽	±30															
通編					(管渠)		延	長 L	-200															
3 土 木 工	2 一 般 施	3 共 通 的	29	2	側溝工 (場所打水	(路工)	基	準 高 ▽	±30															
事共通	工	工種																				厚	さ t ₁ , t ₂	-20
編																				幅	w	-30		
							高	さ h ₁ , h ₂	-30															
							延	長 L	-200															
3 土木工	2 一般施	3 共通的	29	3	側溝工 (暗渠工)		基	準 高 ▽	±30															
事 共 通	ла Т	工種					悝	w ₁ , w ₂	-50															
編							深	ð h	-30															
							延	長 L	-200															

測 定 基 進	測 定 箇 所	<u>単位:m</u> 摘 要
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、施工延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所 につき2箇所。 1箇所/1施工箇所		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、施工延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所 につき2箇所。	t_1 W t_2 h_1 h_2 h_2	
1 施工箇所毎 施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき 1 箇所。 延長40m (又は50m) 以下のものは 1 施工につき2箇所。		
1 施工箇所毎		

53

畄位	mm	

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目 規格値
3 土 木	2 一 般	3 共通	30		集水桝工		基 準 高 ▽ ±30
工事共	施工	的工種					※厚さ t ₁ ~t ₅ -20
通編							※幅 w₁, w₂ −30
							※高さ h ₁ , h ₂ -30
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	31		現場塗装工		 塗 膜 厚 a. ロットの塗膜 厚平均値は、目標 塗膜厚合計値の 90%以上。 b.測定値の最小 値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c.測定値の分布の標準偏差は、目 標塗膜厚合計値の20%を超えない。 ただし、測定値の 20%を超えない。 ただし、測定値の限り ではない。

測定基準	測 定 箇 所	摘要
1 箇所毎 ※は、現場打部分のある場合	$\begin{array}{c} t_{3} \\ w_{1} \\ t_{4} \\ t_{1} \\ \hline \\ h_{1} \\ \hline \\ $	
塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは500㎡とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、 各点の測定は5回行い、その平均値を その点の測定値とする。		

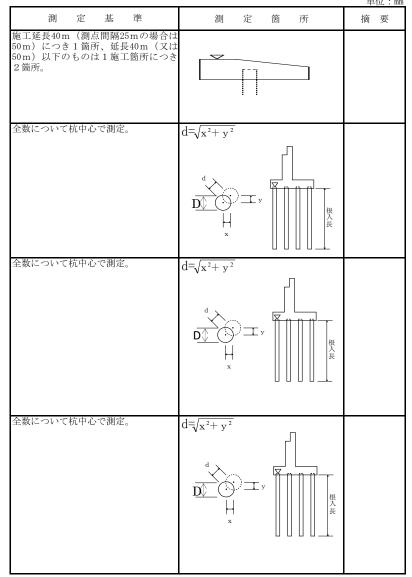
単位	1	mn

編	章	節	条	枝番	I	種	測	定項	目	規格値
3 土 木	2 一 般	4 基 礎	1		一般事項 (切込砂利)		幅		W	設計値以上
工事共	施工	Ĩ			(砕石基礎工(割ぐり石基(均しコンク	礎工)	厚さ	t_1 ,	t ₂	-30
通編						/	延	長	L	各構造物の規格値 による
3 土 十	2 	4 基	3	1	基礎工(護岸)	基	準 高	\bigtriangledown	±30
木工事共	般施工	礎工			(現場打)		幅		w	-30
一通編							高	さ	h	-30
							延	長	L	-200

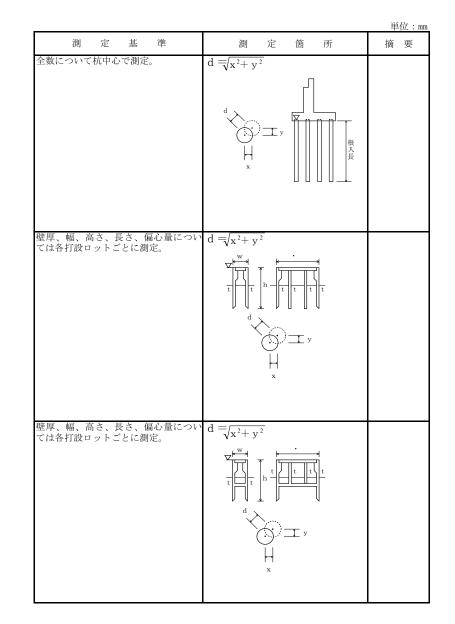
		単位:m
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。		
極工延長40m(測点間隔25mの場合は 0m)につき1箇所、延長40m(又は 0m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。		
	h	

単位	1	mn

編	章	節	条	枝番	I	種	測	定 項	目	規格値
3 土	2	4 基	3	2	基礎工(護		基	準 高	\bigtriangledown	±30
木工事共通編	般施工	礎工			(プレキャ	スト)	延	長	L	-200
3 土	2	4 基	4	1	既製杭工		基	準 高	\bigtriangledown	±50
木工	般施	磁礎工			(既製コ: 杭)	ンクリート	根	入	長	設計値以上
事共通	Ţ				(鋼管杭) (H鋼杭)	_	偏	心量	d	D/4以内かつ100 以内
編							傾		斜	1/100以内
3 土	2	4 基	4	2	既製杭工		基	準 高	\bigtriangledown	± 50
ホエエ	般施	礎工			(鋼管ソイ 杭)	ルセメント	根	入	長	設計值以上
事共通	Ţ						偏	心量	d	100以内
編							傾		斜	1/100以内
							杭	径	D	設計値以上
3 土	2	4 基	5		場所打杭工		基	準 高	\bigtriangledown	±50
木工	般施工	礎工					根	入	長	設計値以上
事共通	I						偏	心量	d	100以内
編							傾		斜	1/100以内
							杭	径	D	{設計径(公称 径)-30}以上



編	章	節	条	枝番	I A	種	測定項目	規格値							
3 土	2	4 基	6		深礎工		基 準 高 ▽	±50							
木工	般 施	磁工					根 入 長	設計値以上							
事共	I										ľ	偏 心 量 d	150以内		
通編						ľ	傾 斜	1/50以内							
						ĺ									
3	2	4	7		オープンケーソン	/基礎	基 準 高 ▽	±100							
土 木 工	一般	基礎工			I		生 中 向 v ケーソンの長さ l	-50							
事共	施工											ŀ	ケーソンの幅 w	-50	
通編													ŀ	ケーソンの高さh	-100
													ŀ	ケーソンの壁厚 t	-20
						ľ	偏 心 量 d	300以内							
3 土	2	4 基	8		ニューマチックク ン基礎工	rーソ	基 準 高 ▽	±100							
木工	般 施	礎工			·	ľ	ケーソンの長さし	-50							
事共	T					ľ	ケーソンの幅 w	-50							
通 編												ケーソンの高さ h	-100		
						ľ	ケーソンの壁厚 t	-20							
							偏 心 量 d	300以内							



mm

編	章	節	条	枝番	I	種	測 定	項目	規格値
3 土 木	2 一 般	4 基 礎	9		鋼管矢板基礎	ξŢ.	基準	高 ▽	±100
工事共	施工	Ţ					根	入 長	設計値以上
通編							偏心	量 d	300以内
3 土 木	2 一 般	5 石	3	1	コンクリー 工		基準	高 ▽	±50
工事共	施工	ブロッ			(コンクリー ク積) (コンクリー		法長 0	$\ell < 3 \mathrm{m}$	-50
通編		ク 積 (ク張り)		54.2	$\mathfrak{l} \geqq 3 \text{ m}$	-100
		張) 工					厚さ (ブロ 1	ック積張) t ₁	-50
							厚さ(裏	裛込) t 2	-50
							延	長 L	-200
3 土 朱	2 一 般	5 石	3	2	コンクリー 工		基準	高 ▽	±50
工事共	施工	ブロッ			(連節ブロッ	ク張り)	法	長し	-100
通編		ク 積					延長	L ₁ , L ₂	-200
		張) 工							

		単位:m
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
基準高は、全数を測定。 偏心量は、1 基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所、延長40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につき 2箇所。厚さは上端部及び下端部の2 箇所を測定。		
施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。	т	

編	章	節	条	枝番	I	種	測定	項目	規格	値
3 土	2	5 石	3	3	コンクリート 工	、ブロック	基準	高▽	±50	
木工	般施	・ブ			(天端保護フ	ロック)	幅	W	-100	
事 共 通	T	ロ ツ ク					延	長 L	-200	
編		積								
		(張) 工								
		I								
0	0	5	4		タルブロック	T				
3土木	2 一 般	5 石	4		緑化ブロック	<u> </u>	基準	高 ▽	±50	
小工事	施工	ブロ					法長 0	$\ell < 3 \ { m m}$	-50	
ヂ 共 通	<u></u>	ロック					ΔX 8	${\rm l} \geqq 3~{\rm m}$	-100	
編		積(厚さ(ブ	ロック) t ₁	-50	
		張)					厚さ(裏	夏込) t ₂	-50	
		I					延	長 L	-200	
3 土	2	5 石	5		石積(張)工		基準	高 ▽	±50	
木工	般施	・ ブ						$\ell < 3 \ { m m}$	-50	
事共	T	ロット					法長 0	${\rm l} \geqq 3~{\rm m}$	-100	
通 編		ク 積					厚さ(石	↓ 積・張) t ₁	-50	
		(張)					厚さ(裏	込) t ₂	-50	
		I					延	長 L	-200	

		単位:m
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。	W 間詰かご 連結ブロック	
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。厚さは上端部及び下端部の2 箇所を測定。	t_1 t_2 t_1 t_2 t_1 t_2 t_1 t_2	
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。厚さは上端部及び下端部の2 箇所を測定。		

								規札	各値	
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目		測定値 K)	10個の 平均	則定値の (X10)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
3 土 木	2 一般	6 一 般	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	± 50	—	—
工事共	施工	舗装工				厚さ	-45	-45	-15	-15
通編						幅	-50	-50	—	_
9	9	6	7	9	アフフィルト統壮工					
3 土 木	2 一 般	6 一 般	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工)	厚さ	-25	-30	-8	-10
工事共	施工	舗装工			粒度調整路盤工	幅	-50	-50	—	—
通編										

									単	位:mm
	定				川 定		í 所		摘	要
 「「」 「「」 「」 <	○線およで 00m毎に 目は、延当 00m毎に	び 1 6 8 0 m 毎 所 毎 所 毎 の の の の の の の の の の の の の	測掘りりしししししししし	中描いいの該 よ施い合い①満②使中い、は総当小り工、でう施 使用した舗使使す規規管同、。工 用量量が、 すが	人で施す量。工はに工の 積 る50、合とい。のの管浦、 とさ映りず 2, 層以々規もにだ合いで 基いは個でといた場	に理が10,で 理が10,で 伸のる が写し、 たのの かに し、 のの のの し、 のの の の し、 の の の の の の の の の の の の の	f 000℃t 現の現象该 以 層tt値満固満さな2000~2000~2000~2000~2000~2000~2000~200	事上混場 の結事すも 00 物 唱け値けタをあ合合 工果をるの 22 の 29れのれ数いる物が 事をい場を 未 総 個ば平ばが		

										規構	各 値	
編	章	節	条	枝番	工種		測定	項目		測定値 K)	10個の海 平均	
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
3 土木	2 一 般	6 一 般	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工)	-	厚	さ	-25	-30	-8	-10
工事共	施工	舗装工			セメント(石灰) 安定処理工		悼	Î	-50	-50	ļ	_
通編												
3	2	6	7	4	アスファルト舗装工	-	Ē	.5-			_	
土木工	一般施	一般			(加熱アスファル 安定処理工)	ŀ	厚	さ	-15	-20	-5	-7
事共通	I	装工					巾	Î	-50	-50		
編												

												単	i位:m
	測	定	基	潍		:	測	定	箇	所		摘	要
幅厚採 はさ取 して る、 し	1,000 くは挑 1,000	m ^m に1 重り起こ	個の き して 1 筒 同	 前 前	アーを	よ施い合い①満②使用量のであった。	以上表目用5-英莫里一次 面 ナバオ削いというのにする。工はに工の 積 る50、合と10。のの 積 る50、合と10。のの ない しょう	D)管面甚、とさ央のデ2, 層以々見もこご 事理積層3, はいで施れ 00 及3,準値につし、 もきエか 00 及3,準値につし、	が1500 中のるがに m2 表の0度10で厚すの00%以 中のるがに m2 表の0度を10個満さの10%以 相、規数該 L 月末値周値満さの10%以 目まで見ていた。	30m層上 以管の連す L 用ミが10加度上 以管の連す L 現満れ L 理工続う 6 個な定な一	事上昆昜 の結事すも 00 吻 にす直ナタをあ合合 工果をるの 22 の 9れのれ数いる物が 事をい場を 未 総 個ば平ばが		

										規札	各値		
編	章	節	条	枝番	I.	種	測定	項目	個々の (X	測定値 ()	10個の激 平均	則定値の (X10)	
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下	
3 土木	2 一 般	6 一 般	7	5	アスファルト (基層工)	·舗装工	厚	さ	-9	-12	-3	-4	
工事共	施工	舗装工					ф		-25	-25		_	
八通編		1											
3	2	6	7	6	アスファルト	铺装工							
土木	一般	一般		0	(表層工)	Pm 4X -L	厚	さ	-7	-9	-2	-3	
工事共	施工	舗装工					φ	1	-25	-25	_	—	
通編							平坦性		_		3 m ^{7°} ¤7ィ <i>ルメーター</i> (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下		
								5 II.					

											単	位:m
	測	定	基	準		測	定	箇	所		摘	要
幅厚採 幅厚採 はさ取し、 、はし 、 えはして	1,000 (測定。 延長80n 1,000	m [*] に1	個 の 書 1 箇 所	の割と	 よ施い合い①満②使 以な均な10用 コ 等他り工、でう施 使用厚上ら値ら個し ア橋にの規管同、。工 用量さのな(な未な 一面損方	莫上装用用る模模理一次 面 すがは割いXい満い 採舗傷法 工 上で正る. 事小反種い て 基0400~2000。 取装をに 事	の?商基、、とさ映のず、2、層以承規もにだ合、つでえる、お工理積層3、はいで施れ、の人力の作にいしば、いつるこ、いう理想ない、いきによりのしてあるという。	がぶらの 中の名がに 四 ぶの鬼を (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	き20歳人、葉(葉白雪)上、用たが足の足のりの、、取らを、平均な200番上、以管の連すいり、混満いし切しデ平、にちる、平均工以用が、上増工統名。00、合、値な定な一均、よ場。、性	事上混易 の結事すも 00 物 にけ直け夕値 り合をあ合合 工果をるの 22 の 29れのれ数は 床はいる物が 事をい場を 未 総 個ば平ばが適 版、		

									規材	各值	
編	章	節	条	枝番	工 種	4 mil	測定項目	個々の (2	測定値 K)	10個の液 平均	則定値の (X10)
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
3 土米	2 一 般	6 一 般	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)		基準高▽	±40	± 50	_	—
工事共	施工	舗装工					厚さ	-45	-45	-15	-15
通 編							幅	-50	-50	_	—
3 土 木	2 一 般	6 一 般	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工)		厚さ	-25	-30	-8	-10
工事共	施工	舗装工			粒度調整路盤工		幅	-50	-50		_
福											

												単	位:m
	測	定	基	準			測	定	箇	所		摘	要
基し厚こ幅定。道はて、	路中心 各車線 測定。	線及ひ 200m	[、] 端部で 毎に1	ご測定。 箇所を	掘り起	中た 基 3,000 歩 邦 志 部 の の 歩 り て に 局 し ま の の の り た に ろ 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	模以上 こよいで ない して し し し に し し に し に し に し の で ま い し で で い し で で い し で で い し で で い し て の で し た し の し に の し の し の に の し に の し の に の に の	の工事で長の上すで見ていた。	昆合物の	L事をし すべました すいた した に 事 を 使 の 上 理 工	いい、 用量が の工事 結果を 事をい		
幅厚起こし	、各車	線200	こ 1 箇 m 毎 に	 新の割 1 箇所	とし、り								

									規材	各值	
編	章	節	条	枝番	工種	測定項	目	個々の (X			則定値の (X10)
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
3 土 木	2 一 般	6 一 般	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工)	厚	さ	-25	-30	-8	-10
工事共	施工	補装工			セメント(石灰)安 定処理工	幅		-50	-50		
通編											
3 土 木	2 一 般	6 一 般	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト	厚	さ	-15	-20	-5	-7
工事共	施工	舗装工			安定処理工)	幅		-50	-50		
通編											
3 土 木	2 一 般	6 一 般	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	厚	さ	-9	-12	-3	-4
工事共	施工	舗装工				幅		-25	-25	_	_
八通編		4									
3 土 木	2 一 般	6 一 般	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚	さ	-7	-9	-2	-3
工事共	施工	舗装工				幅		-25	-25	_	_
通編						平坦	性	_	_	3 m ⁷ ^σ 7 (σ)2.4 直読式((σ)1.7	mm以下

											単	位:㎜
測	定	基	準			測	定	箇	所		摘	要
幅は、延長8 厚さは、100 採取もしくに 延長8 厚さは、100	0 m ² に 1 t掘り起	1 個の まして こ 1 箇月	割でコン 測定。 所の割。	アーを	い 基 3,000 t よ 加 ま た 居 お い 規 第 同 該	莫でよ以 模でよ 以 工 は に 工 す し 一 当	り理層)とさ映の。 事可混合、もきコ	「能なのが中の気料」	L 事を し 縦 る 。 の 上 の 工 三 の 工 三 の 彩 の に 事 を 使 月 の の る の と り 総 る 。 の の の の の の の の の ろ の の の ろ の の り の ろ の り の ろ の の ろ の ろ	いい、 用量が の工事 毒 をい		
Fela、100 採取して測定	20				橋 橋	舗装等を与える工事に	でコア る恐れ ことが おいて	「 — 採耳 いのある ぶ出来る こは、 ^立	る場合に る。	は、他		
幅は、延及。 厚さは、100 採取して測定	0 m² に 1											
幅は、延長8 厚さは、100 を採取して進	0 m ² 毎に											

								規札	各值	
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目		測定値 X)	10個の液 平均	則定値の (X10)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
3 土 木	2 一 般	6 一般	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50		
工事共	施工	舗装工				厚さ	-45	-45	-15	-15
通編						幅	-50	-50		_
3 土 木	2 一 般	6 一 般	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工)	厚さ	-25	-30	-8	—10
工事共	施工	舗装工			粒度調整路盤工	幅	-50	-50	_	—
通編										
3 土 木	2 一 般	6 一 般	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工)	厚さ	-25	-30	-8	-10
工 事 共	施工	(舗装工			セメント (石灰) (定処理工	安 幅	-50	-50	—	
通 編										

												単	位:m
ł	測	定	基	準			測	定	箇	所		摘	要
基 準 道 路 客 し に さ に 、 延 に さ に 、 さ は て 、 さ は て 、 、 さ に 、 、 、 さ に 、 、 、 こ 、 、 こ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	中心約 車線2 定。	泉及び 200m年	端部て 手に 1	*測定。 箇所を	掘り起	中規構 いた上 基層お 3,000 t	莫びよい して して び し 事 小 反 種 世 二 工	の 工	可能な 昆合物(が 前	工事を の お る し 上 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 の を し 二 事 を し の で る の こ の で る し 、 の つ こ の し の う の し の う の し の し の し の し の し の し	用量が の工事 結果を い		
						等に損 他の方	舗装等 傷を与 法によ	でコ) えるれ ること	アー採I 恐れのa	ある場 疼る。	合は、		
幅は、延 厚さは、 起こして;	各車編	泉200 n	1 箇) n毎に	所の割 1 箇所	とし、 を掘り	を省略							
幅 は 、 延 も し	1000	m²に 1	個の	鴚でコ									

										規札	各値	
編	章	節	条	枝番	I	種	測定	項目	個々の (X	測定値 ()	10個の測 平均	則定値の (X10)
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
3 土 木	2 一 般	6 一 般	9	4	排水性舗装工 (加熱アスフ	アルト	厚	さ	-15	-20	-5	-7
工事共	施工	舗装工			安定処理工)		¢	Î.	-50	-50		
通編												
3 土 木	2 一 般	6 一 般	9	5	排水性舗装工 (基層工)		厚	さ	-9	-12	-3	-4
工事共	施工	舗装工					¢	Ē	-25	-25	_	_
通編												
3 土 木	2 一 般	6 一 般	9	6	排水性舗装工 (表層工)		厚	さ	-7	-9	-2	-3
工事共	施工	舗装工					¢	間	-25	-25	_	_
通編							平 1	旦 性	_		3 m7 [°] ¤7 (σ)2.4 直読式((σ)1.7	mm以下

											単	位:m
	測	定	基	準	:	測	定	箇	所		摘	要
幅 厚 求 取 し	, 1000) m に 1			いた上て 基 3,000 t より 規 様 地 、 が 該 に し い 規 様 理 ー 当	以のびよの事小反種る	の理層)とさ映の。	可能な 応 能 な の の が 中 の の 規 に 、 、 、 、 、 の の 、 、 、 、 の の 、 、 、 の の 、 、 、 の の 、 、 、 の の 、 、 、 の の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	L事をい り総 する。 算 以 上 の 工 調 の 工 調	いい、 用量が の工事 春 春 をい		
幅は、厚さは、採取し	、1000) m に 1			等に損傷 他の方法	補装等与よ こ事に	でコフ える恐 おいで	アー採 いのま が出来 こは、 ¹	ある場合 そる。	合は、		
幅厚を採取	, 1000)m ² 毎に										

									規材	各值
編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の (X	測定値 ()	平均の測定値 (X10)
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一 般	10	1	透水性舗装工 (路盤工)		基準高▽	±	50	—
工事共	施工	舗装工					厚さ	t < 15 cm	-30	-10
通編							序 0	t≧ 15cm	-45	-15
							幅	-1	00	_
3 土 木	2 一 般	6 一 般	10	2	透水性舗装工 (表層工)		厚さ	_	9	-3
工事共	施工	補装工					幅	-2	25	_
通編										

					単	位:mm
測 定 基 準	測	定	笛	所	摘	要
基準高は片側延長40m毎に1箇所の割で 測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所掘り 起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1箇所測定。 ※歩道舗装に適用する。						
幅は、片側延長80m毎に1箇所の割で測 定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所コ アーを採取して測定。 ※歩道舗装に適用する。						

									規材	各值	
編	章	節	条	枝番	工種		測定項目	個々の (X	測定値 ()	10個の液 平均	則定値の (X10)
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
3 土木	2 一 般	6 一般	11	1	グースアスファル 舗装工		厚さ	-15	-20	-5	-7
工事共	施工	舗装工			(加熱アスファル 安定処理工)	ŀ	幅	-50	-50		
通編											
0					*	,					
3 土 木	2 一 般	6 一 般	11	2	グースアスファル 舗装工	r	厚さ	-9	-12	-3	-4
工事共	施工	舗装工			(基層工)		幅	-25	-25		
通編											
3 土 木	2 一 般	6 一 般	11	3	グースアスファル 舗装工	ŀ	厚さ	-7	-9	-2	-3
工事共	施工	舗装工			(表層工)		幅	-25	-25		
通編							平 坦 性	-	_	3 m7 ロ7 (σ)2.4 直読式((σ)1.7	mm以下

					-						単	位:mm
	測	定	基	準		測	定	箇	所		摘	要
幅 は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1000	m に 1			いた上 ⁻ 基層お。 3,000 t	以上の でびより して して して して して して して して して して で の で で の で で の で で の で の で して して の で した の で した した の で した した の で した の に の に した した の に した の に の した の した の	り 理層場合 とさ映の 加工が用合はいで施工	「能なる」 記合該規 の規 しのの規	E事をU D総使 する。 算以上(算の工) 算の工)	いい、 用量が の工事 春 ま を い		
幅は、	1000	m²に 1			コアー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	i装等	でコア える思 るいて	- 採取 れの お 出 オ	ある場合 そる。	合は、		
幅は、第 厚さは、 を採取し	1000	m [*] 毎に										

								規材	各值
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	個々の (2	測定値 ()	平均の測定値 (X10)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一般	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	基準高▽	±40	± 50	—
工事共	施工	舗装工				厚さ		15	-15
通編						幅	-!	50	—
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	厚さ	-25	-30	-8
工事共	施工	舗装工				幅	-!	50	—
通編									

											単	位:n
測	定	基	準		ž	IJ	定	笛	所		摘	要
基しさは200 基準、各型定。 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	泉お毎 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	び 1 低 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	で を 毎 (の))) (の))) (の))) (の))) (の))) (の))) (の))) (の))))) (の))))))) (の)))))))))))))	定り1 箇した し、 とし () () () () () () () () () () () () ()	中規模と 2,000㎡以	に人とトロは割いXい満い 取装をは上は混は(てと)た場で、そく、それでは、1000の。 に等与	11する方施固然にによいころあ。層の工の格につしは てア恐	及総面測値、い、測 一れび使う。 深価満定が低滞です 採の		加熱 t t 和 500 t t 未 9 m l t l 値 け 夕 値 床 版		

										規材	各 値
編	章	節	条	枝番	工	種	測定	項目	個々の (X	測定値 ()	平均の測定値 (X10)
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	3	コンクリー (セメント	(石灰・	厚	さ	-25	-30	-8
工事共	施工	舗装工			瀝青)安定如	心理工)	Ą	H-1	-{	50	—
通編		1									
3	2	6	12	4	コンクリー	卜舗装工					
土木工	一般施	一般舗			(アスファ 層)		厚	さ	-9	-12	-3
事共	工	語装 工			/官/		Ŵ		-2	25	—
通編											

r												単	位:m
	測	定	基	準			測	定	箇	所		摘	要
厚 採 幅 厚 採 は さ は も	 1,00 しくは 	0m毎に 0m4に 00m6に 00m6に	L 個の約 こして 王 1 箇所	割 測 定 。 割 一 の 同 一 の の 割 一 の の の の の の の の の の の の の	アーを	2,000m 2,小フ満 上ら値ら個し コン ないまでのなくX10- ない。荷 い。荷 い。荷 い。 で	まじとトハた合と100の 、とは、合施個規もにだ合 に等与	1す、「「「「」」で、「「」」で、「「」」では、「「」」で、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、	。 支総績定に に して 使 と の の に に に に に し 、 の に し 、 の に し 、 の に し 、 の に し 、 の の に し 、 の の に し の の の の の の の の の の の の の	量が500 00m ⁴ 未に 100個に た の し い で い の の の の の の の で れ に い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	A:0 満900000000000000000000000000000000000		

								規札	各値
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目		測定値 X)	平均の測定値 (X10)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装	厚さ	_	-10	-3.5
工事共	施工	舗装工			版工)	幅		-25	_
通編						平坦性			コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (σ)2.4mm以下 人力舗設の場合 (σ)3mm以下
						目地段差		±	2
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート	基準高▽	±40	±50	_
工事共	施工	舗装工			版工) 下層路盤工	厚さ	_	45	-15
通編						幅	_	50	—
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート	厚さ	-25	-30	- 8
工事共	施工	舗装工			版工) 粒度調整路盤工	幅		50	_
通編									

											単	位:m
測	定	基	進		Ĭ	則	定	笛	所		摘	要
厚さは各車 各車線200m 1 測線当た 1 定。平坦↑ mの線上、4 mの線上、4	毎に水 り 横断 J E 長 80 n 生 は 各 耳	糸又は方向に前毎に	レベルに 3 箇所以 1 箇所の	より 上測で	中規模。 が2,000m 小規模。	となど下い、合と10。の。 事に	 1と表物症 々規もこだ合 お 層す層の工 測値、い、測 て 	るみの面 定を10で厚定 は、 でで使積 値満000 には、 ででです。 でででです。 でででです。 に、 でででです。 でででです。 でででです。 でででです。 でででです。 でででです。 でででです。 ででです。 ででです。 ででです。 ででです。 でです。 ででです。 ででです。 でです。 でです。 ででです。 でです。 ででです。 ででです。 ででです。 ででです。 ででです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです でです	書層のが 用量が2,000 が2,000 が10個なしの の可定しの の可 単 世 性 (加熱で 500 c たけ で り の ポ ー の の た ー の の た り の の ポ ー の の の の の の の の の の の の の の の の		
隣接する各 構設 構築 で 調部で で 調 で 調 して の 割 に 、 の ま に 、 の ま に 、 の で 調 部 で 調 部 で で 調 れ に 、 の で 調 部 で で 調 れ に 、 の で 調 部 で で 調 れ に 、 の で 調 れ に 、 の で 調 れ に 、 の で 調 れ に 、 の れ し 、 ら れ し 、 ら れ し 、 ら れ し 、 ら れ し 、 ら れ し 、 ら れ し 、 ら れ し 、 ら れ し 、 ら れ し に 、 の れ し 、 ら れ た 、 の れ し に 、 の れ に 、 の 。 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の の の の の の の の の の の の の	N定。 延長40 m 込線及て 00 m 毎 k	n毎に バ端部 に1箇)	1 箇所の で測定。」 所を掘り;	割とする								
幅は、延長8 厚さは、各車 起こして測定	国線2001											

									規格	各值
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項	目	個々の (Y	測定値 ()	平均の測定値 (X10)
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一般	12	8	コンクリート舗装1 (転圧コンクリー	厚	お	-25	-30	-8
工事共	施工	舗装工			版工) セメント(石灰・ 青)安定処理工	瀝 幅		-5	50	—
通編										
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	9	コンクリート舗装コ (転圧コンクリー	厚	さ	-9	-12	-3
工事共	施工	(舗装工			版工) アスファルト中間層			-2	25	_
通 編										
3 土 木	2 一 般	6 一 般	12	10	コンクリート舗装コ (転圧コンクリー	厚	さ	-]	15	-4.5
工事共	施工	舗装工			版工)	幅		-3	35	—
通編						平 坦	性	_	_	転圧コンクリー トの可イルメー プローにより クーにより (σ)2.4mm以 下。
						目地段	设差		±	2

		単	位:mm
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘	要
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、 厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを 採取もしくは、掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、 厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを 採取して測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積 が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アス ファルト混合物の総使用量が500 t未 満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個 以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10個の測定値の平 均値(X10)について満足しなければ ならない。ただし、厚さのデータ数が 10個未満の場合は測定値の平均値は適 用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版 等に損傷を与える恐れのある場合は、 他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目 を省略することが出来る。		
厚さは、各車線の中心付近で型枠据付 後各車線200m毎に水糸又はレベルによ り1測線当たり横断方向に3箇所以上 測定、幅は、延長80m毎に1箇所の割 で測定、平坦性は各車線毎に版縁から 1mの線上、全延長とする。			
隣接する各目地に対して、道路中心線 及び端部で測定。			

								規構	各值
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の (2	測定値 X)	平均の測定値 (X10)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一 般	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—
工事共	施工	舗装工				厚さ	-,	45	-15
通編						幅	-!	50	—
2	0	6	19	0	华民山 5. 66 341-7-				
3 土木	2 一 般	6 一 般	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工)	厚さ	-25	-30	-8
工事共	施工	舗装工			粒度調整路盤工	幅	-!	50	—
通編									

-												単	位:m
浿	IJ	定	基	準			測	定	笛	所		摘	要
基しはしの 幅厚起 に別 に別 に別 に別 に別 に別 に別 に別 に に り に の に る に り に の に の に の り の の の の の の の の の の の	中心約 泉200n ミ。	泉 丸 田 近 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	端部で 耐 部 で 耐 m 一 1 箇 所 一 一 1 1	³ 測 行 毎 に 一 の 割	。 り 1 筒 しんしん しん し	中2,規ァあ厚上ら値らな。	関のmはよく 度のmはよく に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	、上表物工/規もにだ と層の面の格につし、	る。基用 総が定を して 厚 10 に 月 の た に に に に の に の に に に に の に の で 使 り の で 使 の の で し で で し で で の で の で の で の で の の で の で		アt這9れのれ数ス未の個ば平ばが		

								規材	各值
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の (2	測定値 K)	平均の測定値 (X10)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一 般	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工)	厚さ	-25	-30	-8
工事共	施 工	舗装工			セメント(石灰)多 定処理工	幅	-	50	
通編									
3 土木	2 一般	6 一般	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト	厚さ	-15	-20	-5
工事共	施工	舗装工			安定処理工)	幅	-!	50	_
通編									
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工				
土木	一般	一般			(基層工)	厚さ	-9	-12	-3
工事共	施工	舗装工				幅	-;	25	—
通編									

											単	位:m
	測	定	基	準		測	定	箇	所		摘	要
厚さは	, 1,00		し個の	所の割 割 で コ ン 測 定。	工中2,規 東規000 規 アあさのな (X1 よい。) (X1 い。) (X1 い。) (X1 い。) (X1) (X1) (X1) (X1) (X1) (X1) (X1) (X1	しかい、合といい、合というのは混は個でという。 してい、合というた場合にだ合	1 屋表物工の格につし、とと居物面測値、い、	る。 基 に 基 に ま に ま の に に に に に に に に に に に に に		熱0 tののはのののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののの		
	, 1,00	0 m に 1		所の割る	コア - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - - 1 - - - - - - - - - -	装等で を与え	コア- る恐れ	-採取! このある	5場合(
	, 1,00	0 ㎡に 1		所の割 ~ 割でコン								

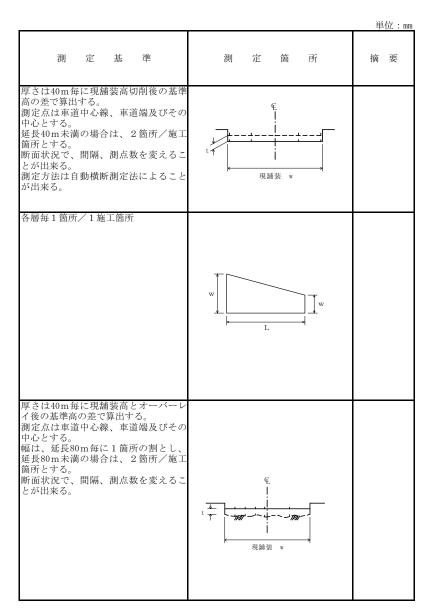
									規構	各值
編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の (2	測定値 K)	平均の測定値 (X10)
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一般	14	1	ブロック舗装] (下層路盤工)	E	基準高▽	±40	±50	—
工事共	施工	舗装工					厚さ		45	-15
通編							幅	-(50	
3 土 木	2 一 般	6 一般	14	2	ブロック舗装 (上層路盤工)		厚さ	-25	-30	-8
工事共	施工	舗装工			粒度調整路盤日	E	幅	-{	50	—
通編										

							単	位:㎜
測	定 基	準	測	定	箇	所	摘	要
基 地 (((((((((((((及び端部で 200m毎に	測定。 1 箇所を掘り	中規模と1 が2,000㎡」 小フあえは した の かい た る い に 准 た と は れ ア ル ア あ る は 観 で と い れ ア ル ア あ る は で と に れ で い の の の パ フ ボ ル ア ル ア の の の の パ フ ボ の の の の の パ フ ボ の フ の の の の パ プ 、 の の の の ろ 、 の う の い ろ ろ 、 の ら の い ろ 、 の ち の い ろ の ろ の の ろ の い ろ の の ろ の い ろ の ろ の	は、1 雇 た と 層 が した し 、 と 層 の の 和 気 を 尾 か の 和 気 た と 層 が 、 と 層 で の の れ に と 層 で の の れ に し て で の の れ に の で の れ に し て で の の れ に い で の の れ に い て の の れ に い で の い れ に い で の い れ に つ い で い い で い で い で い で い で い い で い で い で い い い で い い い い い い い い で い い い い で い い い い い い い い い い い い い	る。 基 尾 基 に 基 尾 加 に し れ 10 に し れ 10 に し れ 10 に し れ 10 に し れ 10 に し れ 10 に し れ 10 に か 10 に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の に う の こ う の の に う の こ う の う の こ う の う の こ う の う の つ こ つ う つ う つ う つ こ つ つ つ う つ つ つ う つ つ つ つ う つ つ つ う つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ			
幅は、延長80m 厚さは、各車線 起こして測定。								

									規構	各值
編	章	節	条	枝番	工 種	1	測定項目	個々の (2	測定値 ()	平均の測定値 (X10)
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工)	J	厚さ	-25	-30	-8
工事共	施工	舗装工			セメント(石灰) 安定処理工		幅	-!	50	_
通 編										
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファル		厚さ	-15	-20	-5
工事共	施工	(舗装工			安定処理工)		幅	-!	50	_
八通編		1								
		-	14							
3 土 木	2 一 般	6 一 般	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	J	厚さ	-9	-12	-3
工事共	施工	舗装工					幅	-:	25	—
通 編										

										単	位:m
測	定	基	進		測	定	箇	所		摘	要
, 1,00	0 ㎡に	1個の	所の割と 割でコン 測定。	工中が小フ満厚上ら値ら個し 現規であさのな(な未ない。 の様いるは割いれい。	しかしたい、合と1000のの したい、合と1000の した場合にた合	1 尾表物工の格につし、 とそ一個での一個では、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	る。 基 が 値 に が 1 と 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		00 t 未 3 個ば平 な り が 10 が 10		
, 1,00	0 m² に :		所の割る 割でコン	コアー ゴ で	装等で を与え	コア- る恐れ	ー採取い いのある	る場合			
, 1,00	0㎡に		所の割 る								

							測定項目			規格値		
編	章	節	条	枝番	工和	重			1	個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X10)	
3 土 木	2 一 般	6 一 般	15		路面切削工		厚	さ	t	-7	-2	
工事共	施工	舗装工					幅		w	-25	—	
通編												
3 土 木	2 一 般	6 一 般	16		舗装打換え工			幅	w	-50		
工事共	施 工	舗装工					路盤工	延長	L	-1	00	
通編								厚さ	t	該当	工種	
								幅	w	-2	25	
							舗設工	延長	L	-1	00	
			1.7					厚さ	t	該当	工種	
3 土 木 工	2 一 般	6 一 般	17		オーバーレイ工		厚	さ	t	-	9	
事共	共	舗装工					幅		w	-25		
通編							延	長	L	-100		
							平	坦	地	_	3 m ⁷ ロ74 <i>k</i> β-9- (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下	



編	章	節	条	枝番	I	種	測 定 項	目	規格値																		
3 土 木	2 一 般	- 地	2		路床安定処理	Ľ	基準高	\bigtriangledown	±50																		
木工事共通	施工	盤改良工					施工厚さ	t	-50																		
通編							幅	w	-100																		
							延長	L	-200																		
3 土 木	2 一 般	7 地盤改良工																			3		置換工		基 準 高	\bigtriangledown	±50
工事共	施工								置換厚さ	t	-50																
通編											幅	w	-100														
							延長	L	-200																		

		単位:mm
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
延長40m毎に1箇所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測 定。 厚さは中心線及び端部で測定。		
施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長40m (50 m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは中心線及び端部で測定。		

W/14-		
里位	1	mn

編	章	節	条	枝番	I	種	測	定 項	目	規格値															
3 土 木 工	2 一般施	7 地盤改	4		表 宿安定 処 (サンドマ	理工 'ット海上)	基	準 高	\bigtriangledown	特記仕様書に明示															
二事共通編	I.	\$ 良 工					法	長	l	-500															
利田							天	端幅	W	-300															
							天靖	端延長	L	-500															
3 土 木	2 一 般	地盤改	地盤改良	地	地	地	地	地	7 地般	地	地	地	地	地	地	地	地	5		パイルネッ	トエ	基	準 高	\bigtriangledown	± 50
工事共	施工							厚	さ	t	-50														
通編										幅		w	-100												
							延	長	L	-200															
3 土 木	2 一 般	7 地 盤	6		サンドマッ	下上	施日	二厚さ	t	-50															
工事共	施工	改良工					幅		w	-100															
通編							延	長	L	-200															

施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。 w. (L) は施工延長40mにつき1箇 所、80m以下のものは1施工箇所につ き3箇所。 (L) はセンターライン及び表裏法肩 で行う。 施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。 杭については、当該杭の項目に準ず			単位:m
点以上測定。 w. (L) は施工延長40mにつき1箇 所、80m以下のものは1施工箇所につき3箇所。 (L) はセンターライン及び表裏法屑で行う。 施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。 施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所。 摩さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。 施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。		測 定 箇 所	摘要
50m) につき 1 箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。 杭については、当該杭の項目に準ず る。 施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき 1 箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。	点以上測定。 w. (L) は施工延長40mにつき1箇 m、80m以下のものは1施工箇所につ き3箇所。 (L) はセンターライン及び表裏法肩		
50m) につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。	施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。 杭については、当該杭の項目に準ず る。	k k k k k k k k k k k k k k k k k k k	
	50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値
3 土 木	2 一 般	7 地盤i	7		バーチカルドレーンエ (サンドドレーンエ)	位置・間隔w	±100
工事共通	施工	改良工			 (ペーパードレーン エ) (袋詰式サンドドレーン工) 	杭 径 D	設計値以上
編			8		締固め改良工 (サンドコンパクショ		設計値以上
					ンパイル工)	サンドドレーン、袋詰式 サンドドレーン、サンド コンパクションパイルの 砂投入量	—
3 土 木	2 一 般	7 地 盤	9		固結工 (粉体噴射撹拌工)	基 準 高 ▽	-50
工事共	施工	改良工			(高圧噴射撹拌工) (スラリー撹拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔w	D/4以内
通編						杭 径 D	設計値以上
						深 度 l	設計値以上

測 定 基 準	測 定 箇 所	<u>単位</u> :m 摘 要
100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。1箇所に4本 測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対 象外とする。 全本数 全本数 計器管理にかえることができる。		
	マ h *余長は、適用除外	
100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。 1箇所に4本測定。		
全本数		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規格値
3 土木工事共通編	2一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (日鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高 ▽ 根 入 長	±100 設計値以上
3 土木工事共通編	2一般施工	10 仮設工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削 孔 深 さ ℓ 配 置 誤 差 d	設計深さ以上 100
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	3	土留・仮締切工 (連節 ブロ ック 張 り 工)	法 長 Q 延長 L ₁ L ₂	-100
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 ▽ 天 端 幅 w 法 長 l	-50 -100 -100

r	[]	単位:m
 測定基準 基準高は施工延長40m(測点間隔25m の場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものは、1施工 箇所につき2箇所。 (任意仮設は除く) 		摘 要
全数 (任意仮設は除く)	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。 1施工箇所毎		
施工延長50mにつき1箇所。 延長50m以下のものは1施工箇所につ き2箇所。 (任意仮設は除く)		

単位	1	m

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	規格値
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	5	土留・仮締切 (中詰盛土)	H	基 準 高 ▽	-50
3 土 木 工 事	2一般施工	10 仮設工	9		地中連続壁工	(壁式)	基 準 高 ▽ 連壁の長さ 0	±50
,共通編	1						変 位	300
							壁 体 長 L	-200
3 土 木	2 一般	10 仮設	10		地中連続壁 式)	工(柱列	基 準 高 ▽	±50
工事共に	施工	I					連壁の長さ ℓ	-50
通編							変 位 d	D/4以内
							壁体長L	-200

		単位:r
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
施工延長50mにつき1箇所。 延長50m以下のものは、1施工箇所に つき2箇所。 (任意仮設は除く)		
基準高は施工延長40m(測点間隔25m の場合は50m)につき1箇所。延長40 m(又は50m)以下のものについては 1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m(測点間隔25mの 場合は25m)につき1箇所。延長20m (又は25m)以下のものは1施工箇所 につき2箇所。		
基準高は施工延長40m (測点間隔25m の場合は50m) につき1箇所。延長40 m (又は50m) 以下のものについては 1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m (測点間隔25mの 場合は25m) につき1箇所。延長20m (又は25m) 以下のものは1施工箇所 につき2箇所。		D : 杭径

編	章	節	条	枝番	I	種	泪	則 定	項目	規格値
3 土 木	2 一 般	12 工 場	1	1	鋳造費	(金属支承工)	上下部	孔	の直径差	+2 -0
工事共通編	施工	製作工共					鋼構造物			ーボスを基準 孔位置のずれ
, inite		通					との接	中心距	$\leq 1000 \text{mm}$	1以下
							合用ボ	離		ーボスを基準 孔位置のずれ
							ル ト 孔		>1000mm	1.5以下
							アンカ	孔 の	$\leq 100 \text{mm}$	+3 -1
							ルーボル	直径	>100mm	+4 -2
							ルト用孔(鋳放し)	孔の	り中心距離	JIS B 0403- 9 5 CT13
							センタ	ボン	スの直径	+0 -1
							ーボス	ボン	スの高さ	+1 -0
								-		

	測	定	基	準	測	定	箇	所	摘	要
製品全	数を測	l定。								
									1	

編	章	節	条	枝番	I	種	泪	則 定	項目	規格値
3 土 木	2 一 般	12 工 場	1	1	鋳造費	(金属支承工)		り橋軸) さ寸法	及び直角方向	JIS B 0403-95 CT13
工事共	施工	製作工					全移動	l	\leq 300mm	± 2
通編		共 通					量 l	l	>300mm	\pm l \nearrow 100
								上,下 げ	面加工仕上	± 3
							組立	コンク	$H\!\leq\!300\text{mm}$	± 3
							高 さ H	リート構造用	H>300mm	(H/200+3) 小 数 点 以下切り捨て
									し長さ寸法)、※2)	JIS B 0403–95 CT14
							普通	鋳放	し肉厚寸法 ※1)	JIS B 0403-95 CT15
							寸法	削	0加工寸法	JIS B 0405-91 粗級
								ガン	又切断寸法	JIS B 0417-79 B級
3 土木	2 一般	12 工 場	1	2	鋳造費 工)	(大型ゴム支承	幅 w 長	w, L	, D≦500	$0 \sim +5$
工事共	施工	製作工					ス さ L 直		≤w, L, D ≦1500mm	$0 \sim + 1 \%$
通 編		共通					置 径 D	1500<	< w, L, D	$0 \sim +15$
							F	-	t \leq 20mm	±0.5
							厚 さ t	20	< t ≦160	±2.5%
									160< t	± 4
							Z	r ī	面 度	1

						-	単	位:r
測 定 基 準		測	定	箇	所		摘	要
製品全数を測定。 ※1)片面削り加工も含む。								
	To							
※2)ただし、ソールプレート接触 橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法	1面の まに対							
してはCT13を適用する。								
製品全数を測定。								
率面度:1個のゴム支承の厚さ(の最大相対誤差	t)							
		補強	时 🦟		_			
			\mathcal{X}		$h_{\mathcal{T}}$			
	t		/	\equiv	L			
		-	w					
		$\left(\right)$						
		k	D					

編	章	節	条	枝番	工種	浿	則 定	項	目	規	格	値
3 土木工事共通編	2 一般施工	12工場製作工 共通	1	3	仮設材製作工	部材	部材	·長 l	(m)	$\pm 3 \cdots \pm 4 \cdots$	l ≦ l >	≦10 >10
3 土木工事共通編	2一般施工	12工場製作工 共通	1	4	刃口金物製作工	刃 口 高 さ h (m)				$\pm 4 \cdots$	5 <h< td=""><td>≤ 0.5 ≤ 1.0 ≤ 2.0</td></h<>	≤ 0.5 ≤ 1.0 ≤ 2.0
						ġ	▶周長	L (r	n)	± ()	.0+L,	/10)

測	定	基	準	測	定	筃	所	摘要
図面の寸法表	辰示箇所	で測定	0					
	: <i>kk</i> =C	不通应		_				
図面の寸法表	マ小固川	で測正	Ō					
				Г			Ŧ	
							h	
						, ,		
				L	/		*	
				1				

編	章	節	条	枝番	I.	種	泪	川 定	項	目	規格値
3 土木工事共通編	2 一般施工	12工場製作工 共通	3	1	実施する場	ーション仮		腹板雨	幅w(1 高h(1 明隔b′	m)	$\begin{array}{c} \pm 2 \cdots \cdots \\ \pm 3 \cdots \cdots \\ 0.5 < w \leq 1.0 \\ \pm 4 \cdots \cdots \\ 1.0 < w \leq 2.0 \\ \pm (3 + w/2) \cdots \cdots \\ 2.0 < w \end{array}$
								板の平	トラ	た及び ス等の の腹板	
							部材	面度 δ(mm)	トラ: フラ: 床版(た及びの ス ジ デ レ ート	
							精度		ンジの δ (mm)	直角度)	w∕200
								部材長』	鋼げた	a.	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \ \mathfrak{l} \ { \leq } 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \mathfrak{l} \ { > } 10 \end{array}$
								и (т)	トラス アーラ	ス、 チなど	$\begin{array}{ccc} \pm \ 2 & \cdots & \mathfrak{l} \leq 10 \\ \pm \ 3 & \cdots & \mathfrak{l} > 10 \end{array}$
									i材の曲 δ(mm)		e ∕1000

	1	単位:m
 測定基準 鋼げた等 トラス・アーチ等 	測定箇所	摘要
主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) w : フランジ幅 (nm)		
(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	δ	
原則として仮組立をしない状態の部材 について、主要部材全数を測定。		
主要部材全数を測 定。 & :部材長 (mm)	e	
※規格値のw, に代入する数値はm単位 ただし、「板の平面度δ, フランジ に代入する数値はmm単位の数値とす?	D直角度δ,圧縮材の曲りδ」の規格値の	Dh, b, w,

編	章	節	条	枝番	I	種	Ĭ	則 定	項目	規	格値	Land.
3 土木工事共	2 一般 施 工	12 工場製作工	3	1	桁製作工 (仮組立によ 実施する場合 (シミュレー 組立検査を行	r) -ション仮		全長 支間長	L (m) Ln (m)	± (10+L ± (10+L		
通編		共 通						主げた 心間距	:、主構の中 回離 B(m)	$\pm (3+B/2)$		
								主構の)組立高さ h (m)	±5 ±(2.5+h		
								主げた り	こ、主構の通 δ (mm)	5+L/5… 25	L≦10	
							仮組立精度	主げた り	:、主構のそ δ (mm)	$-5 \sim +15$ $-5 \sim +25$	 20 <l∶ 40<l∶< td=""><td>≦40 ≦80</td></l∶<></l∶ 	≦40 ≦80
									こ、主構の橋 ける出入差 δ (mm)		値±1	0
								主げた 直度 δ(mn	r、主構の鉛 n)		/1,000)
								間	ě手部のすき δ2 (mm)	設計	·値± 5	5

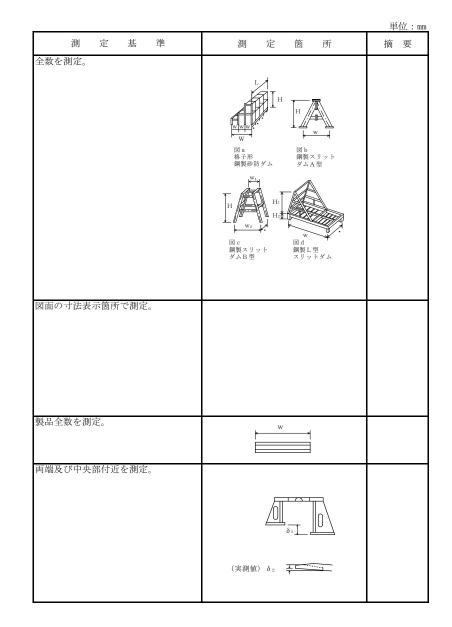
		単位:mm
測定基準	測 定 箇 所	摘要
鋼げた等 トラス・アーチ等 各けた毎に全数測定。	単 経 間 の 場 合 合 し L L1 L2 L3	
各支点及び各支間中央付近を測定。		
両端部及び中心部 を測定。		
最も外側の主げた又は主構について支 点及び支間中央の1点を測定。 L:測線上(m)		
各主げたについて A 主構の各格点を 10~12 m 間隔を測 演定。 L:主げたの 支間長 (m) L:主構の支間長 (m)		
どちらか一方の主げた(主構)端を測 定。		
各主桁の両端部を 測定。 h:主げたの高さ (mm) (mm) (mm) (mm) 支点及び支間中央 付近を測定。 h:主構の高さ (mm)	δ <u> </u>	
主げた、主構の全継手数の1/2を測 定。 δ1、δ2のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合は、マイナス側 については設計値以上とする。		
※規格値のL, B, h に代入する数値は ただし、「主げた、主構の鉛直度δ」 る。	m単位の数値である。 の規格値のhに代入する数値はmm単	立の数値とす

編	章	節	条	枝番	工種	涯	則 定	項目	規格値
3 土木工事共通編	2一般施工	12工場製作工 共通	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施し ない場合)		フラン 腹板 症	w (m)	$\begin{array}{c} \pm 2 \cdots \cdots \\ & w \leq 0.5 \\ \pm 3 \cdots \cdots \\ 5 < w \leq 1.0 \\ \pm 4 \cdots \cdots \\ 1.0 < w \leq 2.0 \\ \pm (3 + w/2) \cdots \cdots \\ 2.0 < w \end{array}$
							板の平面	鋼げた等の 部材の腹板	h∕250
						417	庇	箱げた等の フランジ鋼 床版のデッ キプレート	1 (150
						部材精度	フラン	/ジの直角度 δ(mm)	w∕200
							部材長 ℓ (m)	鋼げた	$\begin{array}{l} \pm \ 3 \cdots \ \mathfrak{l} \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \mathfrak{l} > 10 \end{array}$

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
主げた、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取っ た部材の中央付近を測定。	h L L 型鋼げた	
主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)		
	φ/2 δ	
主要部材全数を測定。		

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工種	ð	則定項目	規格値
3 土	2	12 工	3	3	桁製作工		材の水平度	10
木工事	般施工	場製作			(鋼製えん堤製作) (仮組立時))		是 長 L	±30
共通編		工 共				ţ	是長し	±10
		通				ţ	是 幅 W	±30
						ţ	是 幅 w	±10
						ļ	高 さ H	±10
						ベー	スプレートの高さ	±10
						7	本体の傾き	$\pm \mathrm{H}/500$
3	2	12	4		検査路製作工			
土木工事	2一般施工	工場製作	4		恢重邱毅忭工	部材	部材長 ℓ (m)	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \ \mathfrak{l} \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \mathfrak{l} > 10 \end{array}$
共通編		工 共 通						
3 土 木 工 事	2 一般 施 工	12 工 場 製 作	5		鋼製伸縮継手製作工	部材	部材長w (m)	$0 \sim +30$
ず共 通 編	1	H 工 共 通				仮組	組合せる伸縮装置 との高さの差 δı(mm)	設計値 ±4
						立時	フィンガーの食い 違い δ2(mm)	± 2



126

- E	É,	$\overline{\mathbf{v}}$	mn

編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目	規格値
3 土木工事共通編	2 一般施工	12工場製作工 共通	6		落橋防止装置製作工	部材	部材長 l (m)	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \ \mathfrak{l} \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \mathfrak{l} > 10 \end{array}$
3 土木工事共通編	2 一般施工	12工場製作工 共通	7		橋梁用防護柵製作工	部 材	部材長 Q (m)	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \ \mathfrak{l} \ \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \mathfrak{l} \ > 10 \end{array}$
3 土木工事共通編	2 一般施工	12工場製作工 共通	8		アンカーフレーム製 工	作仮組立時	上面水平度 δ1 (mm) 鉛直度 δ2 (mm)	b ∕ 500 h ∕ 500
							高さ h (mm)	± 5

	·	- 4-1	6464			位:i
測定基準	測	定	箇	所	摘	要
図面の寸法表示箇所で測定。						
同ての「法士二体司」の明白						
図面の寸法表示箇所で測定。						
軸心上全数測定。						
		. ł	, .			
		∦ ∰	 ₽_ ı			
	h	1	≣‡∤ ∦	1		
		⊥₩	÷			
		\rightarrow	- δ 2			

編	章	節	条	枝番	工種	泪	削 定 項 目	規格値
3 土木工事共通編	2 一般施工	12工場製作工 共通	9		プレビーム用桁製作工		フ ラ ン ジ 幅 w (m) 腹板高 h (m)	$\begin{array}{c} \pm 2 \cdots \cdots \\ & w \leq 0.5 \\ \pm 3 \cdots \cdots \\ 0.5 < w \leq 1.0 \\ \pm 4 \cdots \cdots \\ 1.0 < w \leq 2.0 \\ \pm (3 + w/2) \cdots \\ 2.0 < w \end{array}$
						部 材	フランジの直角度 δ (mm)	w∕200
							部材長 ℓ (m)	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \ \ell \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \ell > 10 \end{array}$
						仮組立時	主げたのそりδ	$-5 \sim +5$ L ≤ 20 $-5 \sim +10$ 20 < L ≤ 40
3 土木工事共通	2一般施工	12 工場製作工	10		鋼製排水管製作工	部 材	部材長 ℓ (m)	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \ \mathfrak{l} \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ \mathfrak{l} > 10 \end{array}$
編		共通						

		単位:m
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
各支点及び各支間中央付近を測定。	h 	
各支点及び各支間中央付近を測定。		
原則として仮組立をしない部材につい て主要部材全数で測定。		
各主げたについて10~12m間隔を測 定。	Å L	
図面の寸法表示箇所で測定。		

単位	
	mm

測 定 基 準	्रमग	<u>ل</u> ے	ht.	ar:		位: 一
測 定 基 準外面塗装では、無機ジンクリッチペイ	測	定	箇	所	間	要
ントの塗付後と上塗り終了時に測定						
し、内面塗装では内面塗装終了時に測 定。						
1 ロットの大きさは、500㎡とする。						
1 ロット当たり測定数は25点とし、各 点の測定は5 回行い、その平均値をそ						
の点の測定値とする。						

編	章	節	条	枝番	I	種	測	定項目	規格値
3 土木工事共	2 一般施工	13橋梁架設工			設) (ケーブル			長L (m) 長Ln (m)	\pm (20+L/5) \pm (20+L _n /5)
通編					ン架設) (架設桁架 (送出し架 (トラベラ 架設)		通り	δ (mm)	± (10+2L/5)
							そり	δ (mm)	± (25+L/2)
							※主げた 『	:、主構の中心間 距離B(m)	$\pm 4B \le 2$ $\pm (3+B/2)B>2$
								の橋端における 差δ (mm)	設計値 ±10
								L、主構の鉛直度 δ (mm)	3+h/1,000
								継手部のすき間 ,δ ₂ (mm)	設計値 ±5

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
各けた毎に全数測定。	単径間の場合 多径間の場 合	
L: 主げた・主構の支間長(m)	L1 L2 L3	
	主 げ	
主げた、主構を全数測定。 L:主げた・主構の支間長(m)	ده	
L. 土けた・土俵の文間衣(皿)		
	k L	
各支点及び各支間中央付近を測定。		
	┆┯┱┇┯╼┇┯╼┇ ┝╌┥	
	в	
どちらか一方の主げた(主構)端を測 定。	δ	
	<u>主</u> 注 () () () () () () () () () () () () ()	
各主げたの両端部を測定。h:主げた・ 主構の高さ(mm)		
	δ h	
	<u> </u>	
主げた、主構の全継手数の1/2を測 定。	δ1 → 	
δ1,δ2のうち大きいもの設計値が5mm 以下の場合は、マイナス側については		
設計値以上とする。		
	δ ₂	
※は仮組立検査を実施しない工事に適 用。		
※規格値のL, Bに代入する数値はm単位		
ただし、「主げた、主構の鉛直度δ」 る。	の規格値のhに代入する数値はmm単位	の数値とす

224 / 1-		
	mm	

編	章	節	条	枝番	工種		浿	定 項 目	規格値
3 土木工事共通編	2一般施工	13橋梁架設工			 架設工(コンクリー (クレーン架設) (架設桁架設) 架設工支保工 (固定) (移動) 架設桁架設 (片持架設) (押出し架設) 	- ト		 長・支 間 近の中心間距離 5 り 	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工 共通	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生シット工) (植生ポ天工) (植生宗工) (植生穴工)		切土法長 ℓ 盛土法長 ℓ 処	$\ell < 5 m$ $\ell \ge 5 m$ $\ell < 5 m$ $\ell \le 5 m$	-200 法長の-4% -100 法長の-2% -200
3 土木工事共 通編	2一般施工	14法面工 共通	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)		法長 ℓ 厚さ t	小吹付厚は、設 し、平均厚は設計	-200 法長の-4% -10 -20 凸がある場合の最 計厚の50%以上と 厚以上。 -200

測 定 基 準	測	定	筃	所	摘	要
各桁毎に全数測定。						
ー連毎の両端及び支間中央について各 上下間を測定。						
主桁を全数測定。						
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。						
1施工箇所毎						
施工延長40mにつき1箇所、40m以下 のものは1施工箇所につき2箇所。						
施工面積200㎡につき 1 箇所、面積200						
㎡以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。 検査孔により測定。						
1 施工箇所毎						

337	11.	
· • • •	$\overline{\nabla T}$	mm

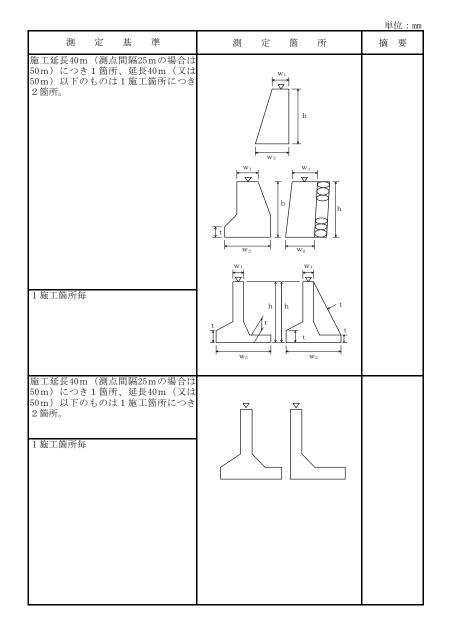
編	章	節	条	枝番	T.	種	浿	定 項 目	規格値
3 土 木 工 事	2一般施工	14 法 面 工	3		吹付工(仮 (コンクリ (モルタル	— F)	法長	$\ell < 3 \mathrm{m}$	-50
ず 共通編	1.	共通					l	$\mathfrak{l}\geqq 3\ m$	-100
								$t < 5 \mathrm{cm}$	-10
							厚 t	$t \geqq 5\text{cm}$	-20
								但し、吹付面に凹 小吹付厚は、設言 し、平均厚は設計)	凸がある場合の最 計厚の50%以上と 厚以上
							辺	臣 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	単位:m 摘 要
施工延長40mにつき1箇所、40m以下 のものは1施工箇所につき2箇所。 測定断面に凹凸があり、曲線法長の測 定が困難な場合は直線法長とする。		
200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は 2箇所をせん孔により測定。	e e	
1施工箇所毎	ۍ ۲	

編	章	節	条	枝番	I	種	測	」 定 項 目	規格値
3 土木工	2 一般 施	14 法 面 工	4	1	法枠工 (現場打法様 (現場吹付)		法長	ℓ <10m	-100
事共通編	Ĭ.	共 通					l	$\ell \ge \! 10m$	-200
/phtu							幅	Î W	-30
							高 さ h 枠中心間隔 a		-30
									±100
							延	長 L	-200
3 土 木 工	2 一 般 施	14 法 面 工	4	2	法枠工 (プレキ + 工)	_r スト法枠	法 長 ℓ ℓ ≥10m		-100
事共通編	Ţ	共 通							-200
							延	長 L	-200
3 土 木 工	2 一般 施	14 法 面 工	6		アンカー工		削孔深さ 配置誤差 d せん孔方向 θ		設計値以上
事共通編	I.	共 通							100
נווליקה									±2.5度

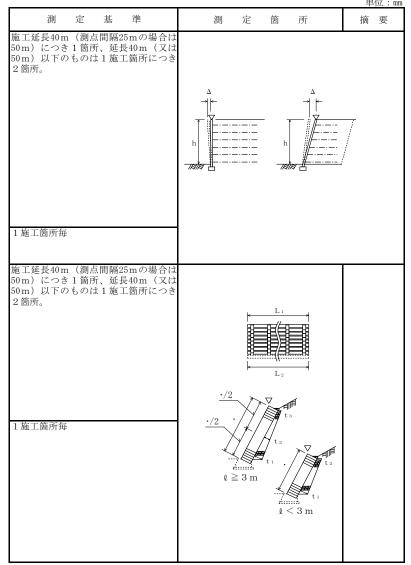
		単位:mm
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。		曲線部は設計 図書による
枠延延長100mにつき 1 箇所、枠延延長 100m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1箇所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2箇所。		
1 施工箇所毎		
全数(任意仮設は除く)		
	$\begin{array}{c} d \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ $	
	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	

編	章	節	条	枝番	工種	, T	測 定	項	目	規格値	٦
3 土 木 工	2 一般施	15 擁壁工	1		(一般事項) 場所打擁壁工	į	基準	高	\bigtriangledown	±50	
工事共通編	工	共 通				J	孠	さ	t	-20	
利用						ļ	裏 込	厚	さ	-50	
						đ	畐	w ₁ ,	\mathbf{w}_2	-30	
						高さ		h < 3	3 m	-50	
						h		h≧3	3 m	-100	
						į	延	長	L	-200	
3 土木工事共	2 一般施工	15 擁壁工 共	2		プレキャスト擁壁工	-	基準	高	\bigtriangledown	±50	
通編		通				3	延	長	L	-200	



电小/	mm	

編	章	節	条	枝番	工種	泪	定 項 目	規格値
3 土 木 工	2 共 通 的	15 擁 壁 工	3		補強土壁工 (補強土(テールアル メ)壁工法)	基	陸 準 高 ▽	±50
事共通編	工種	共 通			(多数アンカー式補強 土工法) (ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)		h < 3 m	-50
/PHH						h	$h\geqq 3\ m$	-100
						釿	計直度△	±0.03hかつ ±300以内
						捏	きえ長さ	設計値以上
						页	É 長 L	-200
3 土 木 工	2 一 般 施	15 擁 壁 工	4		井桁ブロック工	基	⊾ 準 高 ▽	±50
事共通編	Т.	共通				法長	$\ell < 3 \ { m m}$	-50
/PHH						l	${\rm l} \geqq 3~{\rm m}$	-100
						厚	さt ₁ , t ₂ , t ₃	-50
						延	長 L ₁ , L ₂	-200



単位	1	m

編	章	節	条	枝番	I	種	浿	則 定	項目	規材	各值
3 土 木 工	2 一般	16 浚渫 二	3	1	浚渫船運車 (ポンプ液					上限	下限
工事共通	施工	工 共通							200ps	+200	-800
編								電気船	500ps	+200	-1000
							基準		1000ps	+200	-1200
							· 高 ▽	ディー ゼル	250ps	+200	-800
									420ps 600ps	+200	-1000
								船	1350ps	+200	-1200
								ф	Ē	-2	00
								延	長	-2	00
3 土 木 工	2 一般	16 浚渫 二	3	2	浚渫船運車(グラブ液		麦	ち 準	高 ▽	上限	+200
工事共通	施工	工 共 通						ф	一日	-2	00
編								延	長	-2	00

測定基準 測 延長方向は、設計図書により指定され た測点毎。 構断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値 の平均値の設計基準高以下であること。	定 箇 所]	摘要
た測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応 じ中間点も加える。ただし、各測定値 の平均値の設計基準高以下であるこ と。	∇]	
た初品母。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応 じ中間点も加える。ただし、各測定値 の平均値の設計基準高以下であるこ と。	7 		

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	規格値
3 土木工事	2一般施工	18 床版工	2		床版工		基 準 高 ▽	±20
争共通編	1						幅 w	$0 \sim +30$
							厚 さ t	$-10 \sim +20$
							鉄筋のかぶり	設計值以上
							鉄筋の有効高さ	±10
							鉄筋間隔	±20
							上記、鉄筋の有効 高さがマイナスの 場合	±10

						単位:mm
測 定 基 準	i	測	定	箇	所	摘要
基準高は、1径間当たり2箇所(支点 付近)で、1箇所当たり両端と中央部 の3点、幅は1径間当たり3箇所、厚 さは型枠設置時におおむね10㎡に1箇 所測定。 (床版の厚さは、型枠検査をもって代 える。)						注ン造上よ物断上の小 新リ(下電ある行う) か物・びで面積2000 に で 面の が 、 場 や て て 面 の ル 工 場 や て し て の 制 し (下 電 あ る り の 物 、 で で 面 が ッ の 物 、 で で 面 あ ル 、 の 物 、 の で て の で の の 、 、 、 男 の の 、 、 、 男 の 、 、 、 男 の 、 、 、 、
 1 径間当たり3 断面(両端及び中央) 測定。1 断面の測定箇所は断面変化毎 1 箇所とする。 						工種集体のであった。 対象の配かなし、 が成して、 しののかなは、 しののかなは、 しののかなは、 しののかなし、 しのかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 していでいた。 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 しののかなし、 していで、 しののかなし、 しのののかなし、 しのののかなし、 しのののかなし、 しのののかる しのののかない。 しのののののののののののののののののののののののののののののののののののの
1 径間当たり3箇所(両端及び中央) 測定。 1箇所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全 数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎 に2mの範囲を測定。						定要領 (案)」も併 せて適用する